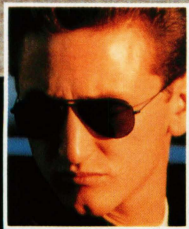


A DENNIS HOPPER FILM
COLORS

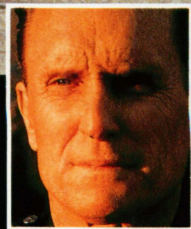
ロス全域で《仁義なき戦い》！ 世界一の暴力多発地域に噴出する
新たなる暴力《カラーズ》！

全米で上映禁止運動続発！



ショーン・ベン / ロバート・デュバル

カラーズ



ロバート・H・ソロ・プロダクション / デニス・ホッパー作品
ショーン・ベン / ロバート・デュバル
"カラーズ 天使の消えた街"
マリア・コンチータ・ロンソ
共同製作 ボール・ルイス 音楽 ハービー・ハンコック
撮影監督 ハスケル・ウェクスラー, A.S.C.

天使の消えた街

デニス・ホッパー作品

脚本 マイケル・シファー / 原作 マイケル・シファー &
リチャード・ティレロ / 製作 ロバート・H・ソロ
監督 デニス・ホッパー
サントラ 著 ヴァンダー・バイネニア・レ・フート / オリガン・ホーランド / デラックス・カラー
原作 二巻重隆
A.C. ORION PICTURES
DOLBY DIGITAL
DOLBY DIGITAL
DOLBY DIGITAL

いま、ロスでは600の組織、70,000人の組員が、過激な抗争を連日繰り広げている

昨年の彼らの殺人件数387件——これは、全ヨーロッパの件数を凌ぎしかも、その被害者の半数以上が、無関係な通行人だった。

全米に上映禁止運動続発。
世論をまっ二つに裂いて
空前の大ヒット!!



なぜ、全米で上映禁止騒ぎが起こったのか——。それは、この作品があまりにもリアルに、アメリカ(ロス)の暴力の素顔を捉えていたからだ。カラーズ(COLORS)とは、今、ロスのダウントOWN地区で過激な勢力争いを繰り返しているストリート・ギャングたちのことで、その組織数はなんと約600。さまざまな人種からなる彼らは互いに激しく反目しあい、そのシマはブロックごとに細かく分割されて、警察さえも及ばない重火器を使つての凄絶な戦いが連日行なわれている。青春と暴力という組み合わせは、時に美しくさえ見える。そして、そうした要素を持つこの作品が、彼らの暴力をますますあおり、あるいは、組織員を増やすことにならないかという心配こそが、世論の元となり、上映禁止運動まで巻き起こした主な要因である。

直接には関係のない我々や、ヨーロッパ諸国の人々にとっても、こうしたアメリカの実態はショッキングであり、そして興味深い……。

STAFF		CAST	
監督	デニス・ホッパー	ダニー・マクガバン	ショーン・ペン
監修	DENNIS HOPPER		SEAN PENN
製作	ロバート・H・ソロ	ボブ・ホッジス	ロバート・デュバル
	ROBERT H. SOLO		ROBERT DUVALL
脚本	マイケル・シフター	ルイサ・ゴメツ・マリア・コンチータ・アロンソ	
	MICHAEL SCHIFFER	MARIA CONCHITA ALONSO	
原作	マイケル・シフター	ロン・デラニ	ランディ・ブルックス
	MICHAEL SCHIFFER		RANDY BROOKS
	リチャード・ディレロ	ラリー・シルベスター	グラント・ブッシュ
	RICHARD DILELLO		GRAND BUSH
撮影	ハスケル・ウェクスラー	ロケット	ドン・チードル
	HASKELL WEXLER, A.S.C.		DON CHEADLE
プロダクション・デザイン	ロン・フォアマン	バード	ジェラルド・メイア
	RON FOREMAN		GERARDO MEJIA
編集	ロバート・エストラン	ハイ・トップ	グレン・プラマー
	ROBERT ESTRIN, A.C.E.		GLENN PLUMMER
音楽	ハービー・ハンコック	フロッグ	トリニダード・シルバ
	HERBIE HANCOCK		TRINIDAD SILVA

証言① ロス郡検事局長アイラ・ライナー氏(ロサンゼルス・タイムズ)
自慢できることではないが、我々はナンバーワンだ。数字(犯罪件数)の上からも、暴力の度合からも、それに対処する法システムの点からも、ロスは全米最高のギャング都市なのだ。

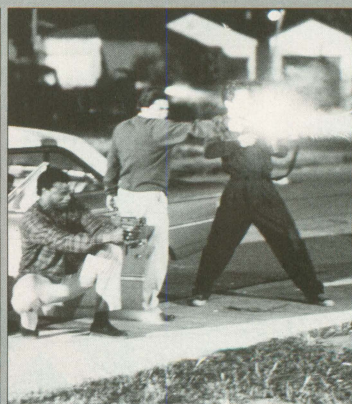
証言② ニュースウィーク誌(87・4・27日付)
ビバリーヒルズの高級住宅街に近い通りで、15歳前後の少年たちが、手に手に強力な火器を携え、「ウエストサイド物語」さながらの縄張り争いを繰り広げている。警察の調べによると、ロス全域では年間5千件ものギャング事件が発生、その捜査に数百万ドルの出費を余儀なくされている。

証言③ デビッド・アンセン氏(ニュース・ウィーク)
デニス・ホッパー監督の社会現象を融合させたアクション映画作りは、すばらしくて、そして大変こわい。決して美しいとはいえないが、決して目を離すことができない。

証言④ ジョエル・シーガル氏(ABC-TV)
"COLORS"は確かに論議的となっている映画ですが、ギャング礼賛の映画ではありません。ロスのギャングたちの縄張り争いのド真中にある劇場チェーンが、上映拒否を決定したというもうなづけますが、私はロスの地方検事が番組中に言った、「この映画は多くの人々の眼を開くだろう」という意見に賛成です。

これは、本年度の最も強烈で強力な映画の一つである。すばらしい演技…ショーン・ペンとロバート・デュバルが実にいい。

証言⑤ ジェフリー・ライオンズ氏(CBSラジオ)
完璧にすばらしい。忘れ難くスリル満点…非常にリアルで……そして文句無しの演技。



今秋衝撃のロードショー 特別鑑賞券(一般¥1200/学生¥1100)発売中

有楽町マリオン新館7F
丸の内 ルーブル (214) 7761

渋谷東急文化会館1F
パンテオン (407) 7219

新宿歌舞伎町
ミラノ座 (202) 1189

東口パルコ先・左側池袋とうきゅうビル7F
池袋東急 (971) 2727